



白 梅 通 信

1月号外 H30.1.10 発行

宮城県古川黎明高等学校 〒 989-6175 宮城県大崎市古川諏訪一丁目4番26号
TEL 0229-22-3148 FAX 0229-22-1024 <http://www.frcimei-h.myswan.ne.jp>

宮城県古川黎明高等学校校長 阿部 修一

新春の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、過日実施しました「平成29年度学校評価アンケート」では、ご多用にもかかわらずご協力いただき、誠にありがとうございました。保護者の皆様からは、中学校で回収率97.7%、高校で回収率80.6%のご回答をいただきました。

つきましては、生徒・保護者アンケートの結果と分析について以下のようにまとめましたのでお知らせします。昨年度と比べ多数の項目で、評価が高くなっておりませんが、評価の下がった項目もあります。また、アンケート調査の結果と分析について「学校評議員」の皆様からご助言をいただき、次年度の改善に役立て、今後の教育活動に生かしていくように努力して参りますので、今後ともご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、グラフによる比較データをホームページにて掲載いたしておりますので、ご高覧の程よろしくお願い申し上げます。

平成29年度学校評価分析

1 回収率

- (1) 中学生 98.7% 保護者 97.7%
- (2) 高校生 1年生 97.4% 2年生 83.5% 3年生 79.6% 保護者 80.6%

2 評価結果及び分析について

※表の数字は、「よく当てはまる」と「だいたい当てはまる」と回答した割合(%)
 ※表の「中生」は中学生、「中保」は中学校保護者、「高保」は高校保護者

○県立学校共通質問事項

【学習指導(学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている)】

中生	96.7	高2	74.8	中保	91.0
高1	72.1	高3	78.4	高保	80.7

(分析) 例年通り中学校においてははかり、高校においても概ね高い評価を得ている。保護者の好評価と比べると生徒の評価はやや低めである。生徒の欲求に応えるべくさらに授業理解を促進できるような授業力向上を目指し授業研究・実践に取り組んでいきたい。

【生徒指導(挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている)】

中生	94.4	高2	79.8	中保	91.0
高1	77.0	高3	76.7	高保	86.7

(分析) 高1と高3の生徒の評価で9~10ポイント低下している。中学生と高2、中高保護者の評価はやや上昇している。学習指導・進路指導の基本は生活指導からという基本方針を全学年に浸透させられるよう、日常的な声かけや啓発に取り組んでいきたい。

【進路指導(進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている)】

中生	89.8	高2	78.3	中保	77.0
高1	79.2	高3	86.3	高保	79.5

(分析) 全体として7~8割の生徒・保護者からよい評価を得ている。しかし、高2生の評価が昨年度当学年(高1)と比較して9.3ポイント下がったこと、また高1生の評価が昨年度の高1と比べて8.6ポイント下がったことなど、個別に見ると問題点も多く、原因を追究し、対策を練る必要があると考える。

【教育相談(教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています)】

中生	92.1	高2	76.3	中保	88.1
高1	79.2	高3	83.5	高保	80.5

(分析) 昨年度よりも全てでポイントがアップしている。中高とも教員の生徒に対する観察やケアがある程度できていること、スクール・カウンセラーやスクール・ソーシャル・ワーカーが親身になって対応し、生徒に寄り添って話を聞いていただいていることが要因と思われる。

【部活動（学校として、部活動は活発に行われている）】

中生	97.4	高2	91.0	中保	92.6
高1	91.6	高3	93.2	高保	94.4

（分析）昨年比でやや低下しているが、9割を超える評価である。運動部ではグラウンド整備がすすみ、活発な部活動がおこなえる環境が整った。文化部においても大会・出品等ばかりでなく、地域の施設慰問やイベントへの参加を積極的におこなっている成果といえる。

【生徒会活動（学校として、生徒会活動は活発に行われている）】

中生	90.8	高2	81.3	中保	95.7
高1	84.9	高3	81.3	高保	85.6

（分析）ほぼ昨年と同じ評価である。今年度は生徒を主体的に活動させることに主眼を置き活動してきた。失敗もあるが、達成感や充実感を味わえる取り組みができたのではないかと。委員会活動・学校行事への取り組みや生徒総会の運営など、今後も学校のリーダーとなる生徒の育成と、全校生徒への普及活動に取り組んでいきたい。

【学校行事（有意義な学校行事がある）】

中生	92.6	高2	87.9	中保	96.1
高1	84.5	高3	93.8	高保	91.5

（分析）昨年度とほぼ同様の評価結果となった。高校生はこれまでと同様に、学年が上がるにつれて評価が高くなっている。それだけ、高学年になるほど行事の中心で活動が行われているということの証だろう。中学は生徒、保護者ともに90%以上の高評価となった。学年を問わず、様々な行事を通して生徒の成長を促す機会があり、中学生が意欲的に参加している日頃からの姿勢にも、この数字を実感することができる。

【特色ある学校づくり（地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる）】

中生	71.5	高2	55.1	中保	74.6
高1	59.3	高3	63.4	高保	66.5

（分析）SSHの活動や文武両道の学校づくりの活動は、関わりのあるものたちにとってもものすごく特色としてあらわれているが、全体ですべての人たちに関わりのあることや、個々人の意識や考え方の違いがあるので、数値としては高い方であると考えている。体育祭・文化祭・球技大会等の行事があり、高校ではSSHの探求活動を全生徒が関わっている。成果や考え方関わり方に違いがあるが個々人の成長に

大きく関わっていると感じている。これからの時代に即した取り組みが行われており、継続的に活動したいと考えている。

【防災教育（災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている）】

中生	93.5	高2	82.9	中保	92.7
高1	87.6	高3	85.2	高保	90.9

（分析）防災についての意識はかなり高い。年度初めの大規模災害時の対応カード等を利用しての周知徹底が浸透していると考えている。年2回の避難訓練は中学校の対応が早く、引き締まったものとなっているが、授業時間外の避難訓練や地域住民と合同の避難訓練等改善していきたい。避難梯子の取り扱いを習得する目的で取り入れているが、安全面での指摘があり今後改善していこうと考えている。

【開かれた学校づくり（学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている）】

中生	98.4	高2	89.4	中保	94.0
高1	88.0	高3	87.4	高保	82.0

（分析）昨年度と比べ高校1年生が若干下がっているが、全体的に上がっている。学校便りや学年・クラス通信が定期的に発行され、よく読まれていると思われる。また、黎メールを利用した、タイムリーな情報発信もよく機能していると思われる。ただし、高校保護者の数値が他と比べ低いのが気になる点である。今後は、学校便りなどの印刷物が保護者に確実に届いているかの確認も含め、改善の余地があると思われる。

【施設整備（校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている）】

中生	95.7	高2	83.8	中保	81.9
高1	79.2	高3	80.5	高保	76.0

（分析）昨年度と比べ、全体的に評価が上がっているが、これはグラウンド整備工事が年間を通して実施されてことによる期待感もあると思われる。駐車場の整備・拡張については、昨年度同様、多くの要望が寄せられているが、工事完了後には若干の改善は見込まれるものと思われる。ただ、期待されるほどの拡張は厳しいことから、行事の際のグラウンドへの乗り入れ制限については、保護者への協力を含め、検討していく必要があると思われる。

【いじめ対策（学校として、いじめ問題に対して取り組んでいる）】

中生	84.2	高2	71.1	中保	61.7
高1	63.3	高3	73.8	高保	54.4

（分析）他の評価項目と比較して低い数値になっている。しかしながら、高2と高3で9ポイント上昇、高校保護者で5ポイントほど上昇した。学校生活に慣れた5月に「いじめ防止講話」を中高合同で実施し、第1回いじめアンケートの結果を三者面談期間に公表（配布）した。年度初めにはいじめ防止基本方針を提示した結果と考えられる。昨年度から県様式のアンケートに加え、「セルフチェックシート」を取り入れ、自己達成度を確認できるようにした。このような取り組みをさらに浸透させ、「いじめは絶対に許さない」という環境作りを学校全体で構築したい。

【総合満足度（学校生活は充実している）】

中生	92.2	高2	79.3	中保	94.5
高1	79.7	高3	86.9	高保	90.8

（分析）中高生徒・保護者ともに昨年を上回り、保護者については9割を超えた。様々な活動の意義をご理解いただいていることはとても嬉しく思うし、励みにもなる。高校3年生徒が85%を超えているのは、最終学年になり、教員との距離がぐっと縮まってきたことと、進路達成に向けて意識が格段に高くなっていることが大きく影響していると思われる。精神的な成長とともに、それまで気づけな

かったことに気づいたり、見えていなかったことが見えてきたりしているようだ。この数字に甘んじることなく、常に生徒のために大切なことを見据えて努力していきたい。

○本校独自質問事項

【2WT（ツウィークテストは基礎学力向上に役立っている）】

中生	68.7	高2	73.2
高1	61.5	高3	69.1

（分析）（中）学力向上に役立っていると回答した生徒が昨年より増えたが、よくわからないという回答も増えた。2WTの意義などの事前指導を充実させ、より有意義なものになるよう改善に努めたい。

（高）例年は学年が上がるに従い評価は低くなる傾向があったが、今回は高1での評価が低い。再テストや再々テストなど教科での指導の強化が主体的な学びの促進につながっていないと思われ、今後、教科・学年で分析・検討していきたい。

【土曜塾（土曜塾は学力向上に役立っている）】

高1	38.9	高3	63.4
高2	41.4	高保	63.6

（分析）高1高2生の生徒の評価は、非常に低い。また、出席率も高くなく、指導者の側からも実施していても手応えを感じられないという声を耳にする。しかし、高2生の評価は昨年度高1時よりも上がっており、高3生の評価は、決して「高い」と手放しで認められるものではないにせよ6割を超えており、昨年度の高2高3生と比較してもさらに上昇している。これは、高1高2では気づかない学習効果に、高3になって気づいている、ということも考えられる。保護者の評価が例年通り6割を超えていることも併せて、今後のあり方を、考える際の参考にしたい。

【課外（長期休業中の課外や平日課外は進路達成に役立っている）】

高1	49.2	高3	80.0
高2	48.3		

（分析）高3生の評価が高いことにとりあえず、安堵している。高1高2生の評価については、近年、微増していたものが、今年度は大きく下がってしまった。これは、課外内容の検討を要するものとも考えられるが、高2生が昨年度高1時よりも大きく下がっている事を併せて考えると、長期休業日数の関係と曜日の関係で、課外の実施日数が大幅に少なくなったことも影響しているのかもしれない。

【進路室関係（進路資料室、自習室は利用しやすい）】

高1	41.3	高3	82.9
高2	42.1		

（分析）昨年度大幅に上昇した高3生の評価が今年度さらに向上した。高3生の利用率が高いので、高1高2生のポイントが低くなるのは必然ではあるが、それでも高1高2生の評価も微増しており、全体に漸次改善されていると考えたい。利用マナーに関しても、完璧とはいえないものの改善が見られる。各生徒のモラルに感謝したい。

【進路情報（進路を考える上で必要な情報が十分に提供されている）】

中生	86.0	高2	73.9	中保	79.5
高1	65.9	高3	88.0	高保	66.9

（分析）中学生徒・保護者からは、昨年度の評価項目になかったので比較はできないが、高い評価を得ている、と言えると思う。高校についても概ね高い評価を得ており、昨年度と比較しても横ばいか微増してはいるが、高1生の評価が6.2ポイントとやや大きく下がっている。学年と進路指導部で手を携え、改善を目指していきたい。

【科学講演会（科学講演会等は、科学への興味・関心を高める上で有意義な行事である）】

中生	63.8	高2	48.2	中保	77.1
高1	54.4	高3	61.7	高保	64.9

（分析）今年度は中学生から高校生まで親しめる内容を提供するためサイエンスナビゲーターの櫻井進氏による数学に関する講演会を実施した。昨年度と比較して、多くの学年で若干ではあるが、高評価となった。今後はさらに内容や年間の実施回数、対象者等を吟味し、生徒の科学に対する興味・関心を喚起していきたい。

【図書館（学校図書館の蔵書は充実している）】

中生	86.6	高2	71.6
高1	76.4	高3	74.3

（分析）中学生・高校生で評価が高い結果がここ最近続いている。図書委員研修会を行い、欲しい本を購入できる体制が定着してきた結果であると考えられる。数年前の課題であった高2・高3でも昨年に引き続き高い水準となった。図書購入費は他の費用とバランスから、これ以上増やせないで、積極的に蔵書への意見をいただいているしながら、充実していきたい。

【図書館（学校図書館は、利用しやすいように整備されている）】

中生	86.5	高2	85.3
高1	85.0	高3	87.5

（分析）全体的に高い評価を得ている。特集コーナーをもうけたり、貸し出し・返却・蔵書検索にコンピュータを利用できることや、図書委員も活発に活動をしていて、書籍の紹介をタイムリーに行っている結果であると思われる。また、生徒の皆さんの協力して使う姿勢もあつてのこと、感謝申し上げる。今後も継続して利用の活発化につとめたい。

【心身の健康への配慮（学校は心身の健康に十分に配慮してくれている）】

中生	86.0	高2	75.2	中保	87.3
高1	69.1	高3	82.2	高保	76.0

（分析）昨年度に比べ高1で6.5ポイント低下し、高3で11.1ポイント上昇が目立つほかは昨年度並みである。高1は新しい環境に適応するために精神的に疲れているためかと思われるので、保健環境部から担任・学年への連絡を密にする必要がある。

【事務室の対応（事務室は学校窓口として親切に対応している）】

中生	63.8	高2	61.4	中保	83.9
高1	71.2	高3	76.5	高保	79.9

（分析）高校2年・3年の生徒に関しては、昨年度（1年時・2年時）より評価が上がっており、高校1年に関しても昨年度の中学生徒より評価は高くなっていることから、事務室との関わりが関係していると思われる。ただ、中学保護者、高校保護者とも昨年度より評価が若干低くなっている。これは、玄関窓口での対応への評価よりは、相手の顔が見えない電話対応に対する評価が大きく関係していると想定される。なお一層の丁寧な対応に努めていきたい。

【交通安全指導（交通安全指導等の安全指導が十分に行われている）】

中保	82.1	高保	68.8
----	------	----	------

（分析）道交法が改正され2年目。自転車による危険運転が社会的にも大きな話題となっており、本校生徒の自転車運転においても例外ではない。評価はやや上昇したが、地域住民等からの指摘や警察からの指導を受けることもみられた。毎月2回の交通安全街頭指導やHRでの注意喚起を頻繁に行っているが、生徒は自分のこととしてとらえられていない部分が見受けられる。地域との連携をはかりながら、社会の一員としての自覚を持たせ、自分と他人の命を守る意識を植え付けられるような指導を継続していきたい。

【授業参観や面談（授業参観や面談等は参加しやすい日程で組まれている）】

中保	89.7	高保	81.2
----	------	----	------

（分析）（中）評価は良好であるが、記述意見の中には日程の見直しに触れるものもあった。今年度を基本としつつ、保護者が参加しやすい日程について検討を重ねていきたい。

（高）昨年度と同様で比較的高い評価であった。授業参観については、授業公開週間の他、各種研究授業も含め、通信、HPの活用を通しての呼びかけの重要性が再確認できた。面談では、昨年同様、午前授業・午後面談の期間を設け、さらに各担任が柔軟に対応した結果であると思われる。

【PTA活動（保護者と教職員の連携が密で、有意義なPTA活動が実施されている）】

中保	79.5	高保	58.1
----	------	----	------

（分析）中学校では、授業参観・学年PTA親子行事等活発に活動しており参加率も高くなり興味関心の高さが見て取れる。高校のPTA行事は減少傾向にあり参加傾向も年々少なくなっている。様々な行事への積極的参加をはかっていきたい。調査広報委員会・健全育成委員会・進路対策委員会での広報紙の作成・挨拶運動・進路講演会等PTA役員の活動は活発に行っている。